

令和3年度事業報告

令和3年度の我が国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症の長期化による影響などから、全国的にまん延防止等重点措置や緊急事態宣言により依然として厳しい状況にありました。富山県においても8月から9月にかけて富山市を措置区域とするまん延防止等重点措置が発令されましたが、9月後半からは、県の警戒レベルが、ステージ3からステージ2に、10月には、ステージ1になるなど、ワクチン接種の効果もあり経済が上向き傾向にと明るい兆しも見えはじめております。しかしながら、感染力が強いとされる変異ウイルスの増大など、まだまだ余談を許さない状況でもあります。

また、2月後半からのロシアのウクライナ侵攻による貿易やエネルギー価格への悪影響が国内需要の供給制約や輸出減少による生産活動の抑制、企業の設備投資の抑制など日本経済に対する影響が悪化することが懸念されます。

少子高齢化が急速に進み、健康寿命も延びる中、誰もが生涯現役で活躍できる環境の整備が求められており、元気で働く意欲ある高齢者が培ってきた経験や技能を活かした社会参加や生きがいつくりの受け皿の一つとして、シルバー人材センターの役割がより一層大きくなっています。

そのような中、市民や発注者の皆様から必要とされるセンターを目指すべく、中期計画（令和元年度～令和5年度）を基本として、既存事業を更に強化すると共に、就業拡大、会員拡大、女性会員の拡大にも取り組んでまいりました。

しかしながら、当センターの事業実績は、新型コロナウイルス感染症の拡大前の実績には至りませんが、派遣事業での新規契約の確保に努めた結果、全体では前年度を約5%上回ることが出来ました。

以下、令和3年度に実施した主な事業について報告します。

1 会員の状況

県シルバー人材センター連合会と連携した技能講習会の開催による会員募集や地区公民館に会員募集チラシ配布、ハローワーク魚津との連携を図りチラシの設置、チラシの新聞折り込み（2回）、市広報に会員募集を掲載しました。入会説明会（定期12回、臨時16回参加者53名）などの取り組みや新規入会会員の初年度会費の免除により新入会員は45名退会者16名資格喪失者1名となり令和3年度当初会員数254名から28名増

加し282名（対前年度比111.0%）となりました。

また、全会員を対象にセンターが保管する会員票の記載内容の変更調査を行い、就業のチャンスが少ない方、仕事の内容等で困っている事案等について個別に相談や対応等について協議しました。また、コロナ禍の中で就業機会が全くなかった会員には、昨年引き続き年会費を免除するなどして、シルバー会員の退会抑制に努めました。

また、女性会員の親睦や交流及び会員拡大を図るため、「折り紙<祝鶴>講習会」「ミニ門松づくり講習会」を開催しました。

2 センター事業の実績

チラシの新聞折込（2回）、会員による受注拡大、市内企業を訪問するなど受注の拡大に取り組みました。

① 受託事業の実績

受託件数は、前年度比19件減少の5,008件（対前年度比99.6%）、契約金額は前年度比129万円減少の9,371万円（対前年度98.6%）でありました。

② シルバー派遣事業の実績

受注件数は、対前年度比7件増加の56件（対前年度比114.3%）
また、会員賃金及び手数料合計は対前年度比658万円増の3,479万円（対前年度比123.3%）でありました。

③ 職業紹介事業の実績

受注件数は2件、会員賃金及び手数料合計は117万円でした。

<参考>

（単位：万円）

区 分		令和2年度	令和3年度	比較増減
受託事業契約金額		9,500	9,371	△129
シルバー派遣事業	賃 金	2,512	3,088	576
	手数料	309	391	82
職業紹介事業	賃 金	0	108	108
	手数料	0	9	9
合 計		12,321	12,967	646

備考：センターの経常収益には、シルバー派遣事業及び職業紹介事業の「賃金」は含まれません。

3 自主・自立の組織づくり

理事（役員）会は6回開催し定時総会に付議する重要議案の審議等の協議を行うとともに、事業、予算の執行状況の調査・適正な運営、会員の適正就業の推進に努めました。また、会員の声が反映されるよう業務執行に関する意思決定機関である理事会において、建設的議論が展開されるように努めました。

4 安全・適正就業の推進

「安全は全てに優先する」を合言葉に、「安全・安心なシルバー事業」の構築を図るために、理事会や会報等で事故の発生状況を報告し、会員一人ひとりの安全就業に対する自己啓発安全意識の高揚に努めました。

安全適正就業推進委員会は2回開催し、発生した事故の原因や安全基準について検証し、事故の未然防止や再発防止対策について協議しました。

剪定現場や草刈現場等を中心に、事故発生等を未然に防止するために、安全パトロールも2回実施しました。

また、県シルバー連合会が開催した安全・適正就業対策推進委員会や安全・適正就業対策推進研修会に積極的に参加して、他センターでの事故発生状況や発生要因、事故防止に向けての取り組み、対策状況の確認をすることにより、当センターにおける事故の未然防止、再発防止に取り組むように努めました。

5 就業開拓・会員拡大の推進

会員拡大を図るため、会員による1人1会員入会運動として会員紹介カードの取組みを行いました。

シルバー事業普及啓発チラシの充実を図り、新聞折り込みや市広報に会員募集記事の掲載や市内の事業所等を訪問して、新規就業先等の開拓推進に努めました。

6 事業運営の効率化

センター事務局5人体制で、事務分掌の検証・見直し事務の効率化や組織の活性化や管理経費の見直し、持続的に事業運営を行うよう経費節減を行い基盤の安定化に努めました。また、財政基盤の構築を目指し、

歳入歳出の両面から総合的に検討するように努めました。

<基本事項の実施状況>

【会議の開催状況】

- ・理事（役員）会 6回
- ・会報編集委員会 4回
- ・職務班（安全就業研修会）会義 7回

【事業の普及啓発活動】

- ・当センターの会報くろべがわを年2回発行
- ・当センターのホームページを年4回更新
- ・新聞折り込みチラシ（お仕事の手伝い、会員募集） 年2回

【会員の増強】

- ・毎月第二火曜日の定時入会説明会、臨時の説明会の開催
※参考 令和3年度 28回 53名参加